

□ 要請番号 (JL74518A07)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
キルギス	G101 青少年活動		個別	新規	2年	・2018/3・2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・科学省

2) 配属機関名（日本語）

マートケリモフ学校

3) 任地（ナリン州コチコル県アクウチュク村）JICA事務所の所在地（ビシュケク市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約3.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は人口1,500人の村にある1928年に設立された公立の小・中・高一貫校で、1-11年生が在籍する。生徒数348名、教員数36名の小規模校である。2010年から2011年に2名の米国ピースコーボランティアが英語教師として派遣されていた。授業は一部制で、午前のみ13時30分まで行われている。同地域には7校の公立校があり、本配属先はその中で一番学力の高い学校である。2011年に国際連合世界食糧計画(WFP)の支援により給食の栄養指導が行われた他、2004年にユニセフから音楽室の楽器が支援された。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先の英語教員が、ナリン市での英語教員研修に参加した際、2017年度秋募集で青少年活動隊員を要請中のアクナラゾフ学校と、2016年度1次隊で2代目の青少年活動隊員の青年海外協力隊(JV)が活動しているアラバエフ学校の教員たちからJICAボランティアについての情報と評判を聞き、本要請につながった。2名の英語教員が3年生から11年生までの授業を学年に分け担当している。1名は経験17年の教員で、もう1名は3年目の教員である。3年生から7年生の授業では教育・科学省の選定教科書が使用され、8年生から11年生はOxford出版の教科書が使用されている。昨今の国際化に向け、会話重視のコミュニケーション型な授業を行うことが目標とされている。ボランティアには授業のサポートの他、可能であれば英語クラブで生徒が活発にスピーチ練習を行うためのサポートが期待されている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先で以下の活動を行う。

1. 同僚教員とチームティーチングで、コミュニケーション型・タスクを取り入れた授業を行う。
2. 主に3年生から5年生に歌やゲームを取り入れた楽しい授業の提案をする。
3. 可能であれば、英語クラブで7年生から11年生に対し、身近なテーマで会話練習をする。
4. 授業の中で、日本文化について紹介し、可能であれば日本の学校とスカイプや手紙で交流する機会を作る。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、デスクトップPC(インターネット接続可)

4) 配属先同僚及び活動対象者

学校長(男性、40代)

教頭(女性、40代)

英語教員2名(女性40代、男性30代)

教員数 36名
対称生徒 3-11年生 248名

5) 活動使用言語

キルギス語

6) 生活使用言語

キルギス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等] : ()

[学歴] : () 備考 :

[性別] : () 備考 :

[経験] : (指導経験) 2年以上 備考 : 同僚教員と共に授業を行うため

[参考情報] :

- ・青少年に対する英語授業経験(塾等含む)

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (亜寒帯冬季少雨気候) 気温 : (-15~30°C位) [電気] : (不安定)

[通信] : (インターネット可 電話可) [水源] : (不安定)

【特記事項】

キルギスの公立学校は、1-4年生(6・7-9・10歳)が小学生、5-9年生(10・11-14・15歳)が中学生、10-11年生(15・16-16・17歳)が高校生に該当する。JVはホームステイを行う。

【類似職種】